

「自己点検・自己評価・学校間評価」評価表

評価対象校：独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター附属高崎看護学校

評価年月日：平成 30年 2月 28日

評価校：自校

評価者：副学校長 1名 教育主事 2名 教員 10名

## 1. 学校の教育目標

- 1) 人々の生命と個々の人格を尊重し、豊かな人間性を備えている。
- 2) 看護の対象を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解している。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会環境とのダイナミックな相互作用の観点から理解している。
- 4) 人々の多様な価値観を尊重し、専門職業人としての倫理観に基づいた行動をとる。
- 5) 健康や障害の状態に応じ、科学的根拠に基づいた看護を実践するための基礎的能力をもつ。
- 6) 保健医療福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するための基礎的能力をもつ。
- 7) 看護実践者として国際的視野をもち、医療の最新知識・技術を自ら学び続ける姿勢をもつ。

## 2. 平成 29 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1. 看護師国家試験 100%合格をめざす。

- 1) 国家試験出題基準を意識した授業を実施(実習・講義)する。
- 2) 実習での技術経験率を向上できるように指導を強化する。
- 3) 看護技術演習で臨床よりの支援を強化する

### 2. 質の高い学生を確保する。

- (1) 推薦指定高校卒を検討する。
- (2) 学生確保活動を強化する。(高校訪問、出張講義、業者説明等)
- (3) 入学試験評価方法を見直す。
- (4) 公開講座を実施する。

### 3. 実習指導者および看護教員候補者を育成する。

- (1) 看護学校インターンシップを実施する。
- (2) 実習指導者研修会を実施する。
- (3) 実習指導者会議で学習会を実施する。

### 4. 教員の教育力の向上を図る。

- (1) 3年以上の教員は研究授業を実施する。
- (2) 研究成果を学会等で発表する。

### 5. 危機管理に努める。

- 1) 防災対策を強化する。
- 2) 個人情報管理や情報セキュリティ対策を徹底する。

### 6. 健全な学校経営に努める。

- 1) 職員が働きやすい環境の整備に努める。
- 2) 経費の削減に努める。

## 3. 評価

### I. 教育理念・目標

評価項目	4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切	備考
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特徴が明確になっているか）	4    ③    2    1	教育課程に示している。
2. 学校における職業教育の特色は何か	4    ③    2    1	本校の特色を文言化しているが、現状と一致しない部分がある。
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4    ③    2    1	群馬県の看護職員需給見通しや近隣機構病院の看護師採用見込み計画をもとにH29年度より定員を増員した。新たな将来構想は明確化されていない。
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4    ③    2    1	入学時オリエンテーションや保護者会で伝達しているが、将来構想は明確にしていない。
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④    3    2    1	

#### ① 課題

評価項目3. 4 : 将来構想が明確化されていない。

#### ② 今後の改善対策

評価項目3. 4 : 大型校となり、地域に貢献できる学校経営の長期ビジョンを明確化する。

#### ③ 特記事項

## Ⅱ 学校運営

評価項目	4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切	備考
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1	
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1	
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4 3 ② 1	教育活動の情報公開は、一部のHPでの公開や病院広報誌にとどまっている。
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1	職員間は共有ネットワークを用いて業務が行えるようになっているが、学生・保護者への連絡システムは十分とは言えない。

### ①課題

評価項目7：学校HPが情報公開に活用しにくい。

評価項目8：学生・保護者への連絡システムは十分とは言えない。

### ②今後の改善対策

評価項目7：活用しやすい学校HPへのリニューアル。H30年度に導入予定。

評価項目8：学生・保護者を含めた情報連絡システムの導入。

### ① 特記事項

## Ⅲ 教育活動

評価項目	4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切	備考
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1	教育理念・教育目標をもとに、本年度の運営方針が示され、教育計画が立案されている。教育課程では、教育理念・目的・教育目標に関連させて各分野の考え方や科目の設定がされている。

2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	教育課程で学科の到達レベルを表示し、科目時間数は別表通り時間割に明示している。
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	教育課程において、カリキュラム構造図、学科進度表が示されており、知識・技術が統合される配列になっている。
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1	臨床の看護師（専門・認定・JNP）に講師を依頼し、実践的な講義となっている。
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1	関東信越グループ内で検討している。教員会議で技術項目について確認と見直しを行っている。シラバスは担当講師に見直しを依頼している。
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1	母体病院で各部門の機能や役割を見学学習する事で、病院環境や他職種理解したことを演習や実習に活用している。
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1	科目終了後に学生の授業評価を担当講師にフィードバックしている。独立行政法人国立病院機構関東信越グループ学校評価マニュアルの自己点検・自己評価に沿って自己点検・他校との点検を行っている。
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1	独立行政法人国立病院機構関東信越グループ内の看護学校と群馬県内の看護学校と相互評価を行っている。
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	単位認定の基準は看護師養成所の運営に関する指導要領に示されている。また、単位認定の方法は、看護師養成所の運営に関する指導要領に示され、基準と一致し、学則と細則の中に明記し、遵守している。
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	資格習得に関しては、入学時に説明し、各学年で国家試験対策を立て継続的な学生支援を行っている。
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	専任教員の確保はされている。教員養成課程の受講者促進、経年的キャリア開発は目標に掲げているので、継続支援していく必要がある

1 2. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1	授業の一環として、専門性の高い講師を卒業講演に招いている。
1 3. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	他校への研究授業参観、授業案の指導を行っている。
1 4. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	学会や研修等に参加している。
1 5. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか	4	③	2	1	研究日、研究に必要な財政的(研究助成金)、研究室など支援されているが時間数は私的時間を多く費やしている。
1 6. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	4	③	2	1	外部講師の活用や上司に研究発表の助言を得ている。

### ① 課題

- 4について：学校の新築により、設備面での充実は計られたが演習では用具や物品が古く、不足もある。  
8について：独立行政法人国立病院機構関東信越グループ内と関係管内の看護学校と相互評価を行っているが、第三者・外部からの評価を行うことが求められる。

### ② 今後の改善対策

- 4について：実技を身につけるために用具や物品の補充を行い、設備を十分活用した教育方法の工夫をしていくことがもとめられる。  
8について：外部からの評価を取り入れることが求められる為、外部者を招いた評価システムづくりをしていく。

### ③ 特記事項

## IV 学修成果

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切	備考
1. 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1	進学者以外の者はすべて就職している。また、母体組織である国立病院機構への就職率80%であり、全国平均を上回っている。
2. 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1	1年次より国家試験対策を行っている。合格率は全国平均を上回っている。(H28年度95.4%、H29年度100%)
3. 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1	週1回の相談室の開室を行っている。教員間での学生状況の把握により相談体制を整えている。(H28.29年度の退学者はなし)
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4 3 2 ①	卒業生の動向調査計画はなく、同行を把握していない。
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1	JNPや認定看護師による講義を取り入れている。また、就職説明会において「国立病院機構看護職員能力開発プログラム」をもとに就職後のキャリア形成の説明を受けている。しかし、学校独自のものはない。

### ① 課題

- 4について：卒業時の学生評価の分析は行われているが、卒業生の調査は実施していない。  
5について：卒業生のキャリア形成への効果を把握していない。

### ② 今後の改善対策

- 4について：就職先の施設と連携、また同窓会と共同して把握していく。  
5について：臨床と協力して卒業生の現状を把握していく。また、キャリア形成の意識付けとなる教科活動を取り入れていく。カミングホームディの計画も進める。

### ③ 特記事項

## V 学生支援

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切	備考
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4      ③      2      1	<p>入学して間もなく担任との面接を行い学生の希望を把握している。また、2年次には県内3施設の病院職員を招き就職ガイダンスを行っている。就職に対する意識を高める機会としている。年度末には、学生フォーラムに参加し国立病院系の就職ガイダンスをうけている。</p> <p>進学に関しては、学生との面接を通し助産師学科の推薦入試などの提供を行っている。しかし、大学編入では学生に一任しているため支援体制の整備が必要である。</p>
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	④      3      2      1	<p>専門家による学生相談室を週2回実施している。学生便覧に掲載し、学生相談室はプライバシーの保護を目的に人目につきにくい3階に設けている。</p> <p>担当が適宜面接する機会を設けており、学習方法等の指導を行っている。</p>
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④      3      2      1	<p>奨学金に関することは学生便覧に掲載している。また、学生支援機構に関しては事務が懇切丁寧に関わっている。病院の奨学金や県および市町村の奨学金に関する情報は適宜提供している。</p> <p>入学金および授業料の特例に関する取扱い規定（除外の者の範囲や除外額）を設けており学生が学校生活を継続できるよう適宜指導している。</p>
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④      3      2      1	<p>保健管理規定に則り健康管理医3名が定期健康診断およびワクチン接種において学生の健康を管理している。健康手帳を学校で管理し、卒業後5年間保管する体制をとっている。</p> <p>感染症に関しては、附属病院</p>

				の感染管理担当と連携し感染者の対応や感染予防につとめている。 インフルエンザ予防接種およびB型肝炎ワクチン接種に関しては、附属の病院にて実施し、費用を補助している。 健康診断では、業者を手配している。		
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	体育館は常時学生が使用できるよう整備している。	
6. 学生の生活環境の支援は行われているか		④	3	2	1	学校の新築に伴い、食事の際にはラウンジを使用し、図書室で個人学習できる環境、研究室では少人数で学習するなどの環境を整えることができた。 附属病院のコンビニエンスストアでは学生割引にて品物を購入することができる。 遠方となる実習では、寮を使用し食事の提供をおこなっている。
7. 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	入学式終了後に保護者会を開き学校生活等に関する説明を実施している。 2年次の決意式では保護者が学校に来校する機会を設けている。 また、病院の説明会にも保護者が就職に関心をもてるよう声をかけている。 成績不良者や学校生活での問題がある学生には本人の承諾をえて保護者に連絡し面接をおこなっている。	
8. 卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	卒業生に図書館を開放し、必要な文献等の貸し出しをおこなっている。 就職後に進学を希望している学生に対しては個別に相談にのっている。	
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	専門学校や大学および短期大学の互換性のあるものには入学時に単位を認定している。個別の状況に対応している。	
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	③	2	1	高校からの要望があった場合、教員が高校生に対し看護に関する講義等を実施している。	

① 課題

② 今後の改善対策

③ 特記事項

## VI 教育環境

評価項目	4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切	備考
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4    ③    2    1	平成 29 年度 4 月より新校舎となり、学習環境に十分対応できるよう整備された。
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4    ③    2    1	学習外の実習施設には、実習目的・方法について十分な説明を行い連携している。インターンシップに関しては、計画を立て学年を追って参加できるように、運営に関わる施設と協力して実施している。
3. 防災に対する体制は整備されているか	4    ③    2    1	年 1 回以上の防災訓練や関連施設の防災訓練に参加している。また、防災マニュアルを作成し配布した。

### ① 課題

3 について：防災訓練を行っており、内容も改善し現状に即したものとなっている。しかし、災害の少ない地域のため防災への動機づけが課題である。

### ② 今後の改善対策

3 について：防災マニュアルは作成したため、今後はポケット版を作成し配布できるようにする。また、学生も増えるので、緊急時の連絡網や HP を用いた情報提供の整備を行う。

### ③ 特記事項

特になし

## VII 学生の受け入れ募集

評価項目	4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切	備考
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	④    3    2    1	群馬県および新潟県・埼玉県・栃木県の高校に募集要項を送付し、教員が学校を訪問し説明会を行っている。また、オープンスクールを年 4 回実施している。業者からの要望があれば、学校説明会・模擬授業を実施している。推薦指定校については、実績を基に見直し、該当校には説明会を実施している。

2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	②	1	国家試験合格率、進路、キャリアシステム、資格等は、学校案内に掲載し、学校訪問時には説明を行っている。しかし、自己評価・自己点検については開示していない。
3. 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	入学金・授業料については募集要項に明示している。また、3年間でかかる諸経費についてオープンスクール等で説明している。入学金・授業料以外の納金はない。

① 課題

2について：自己点検・自己評価の結果を開示していないため、教育成果を正確に伝えられていない。

② 今後の改善対策

2について：自己点検・自己評価の結果をホームページなどに開示し提供する。

③ 特記事項

VIII 財務

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切				備考
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	現在、母体病院の財政基盤は安定しているが、県からの助成金は受けられておらず、今後も安定しているとは言い切れない。
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	②	1	支出削減に向け、収支計画を明確にする必要がある。
3. 財政について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	母体病院で毎年会見監査を受けている。
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	NHOとして情報公開している。

① 課題

2について：職員、学生のコスト意識を高め、支出の削減に取り組む必要がある。

② 今後の改善対策

2について：今年度の支出の見直しを行い、計画的な経費削減を図る。（物品の定数化、教材費の見直し）

③ 特記事項

## IX 法令等の遵守

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切	備考
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	H29.4より新校舎へ移動し、学生定員も増加した。指定規則に基づいて設置・認可をされた。
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 ② 1	情報セキュリティについては学生に文書・口頭で説明を行っている。情報の取り扱いについて実習記録物の取り扱いが徹底されていない。
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1	年度目標をあげ改善のための努力を行っているが現状で到達できていない。
4. 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 ①	公開していない。
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか	4 3 ② 1	保護者会・就職説明会を行っているが、体制として整っていない。

### ① 課題

4について：自己点検自己評価の結果を公開する

### ② 今後の改善対策

4について：自己点検・自己評価の結果を平成30年度、学校ホームページに公開する

### ③ 特記事項

## X 社会貢献・地域貢献

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切	備考
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	地域住民に向けた公開講座を学校内で実施。
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1	附属病院での清掃や患者に対する手浴、足浴などを実施。
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1	地域住民に向けた公開講座を実施。

### ① 課題

1について：昨年の校舎新築にあたり学校施設が整ったため今年度は年一回だった公開講座等を今後も積極的に行っていく。

2について：活動状況を把握し、学校の支援を検討する。

### ② 今後の改善対策

1について：年間行事等を整理、調整し社会・地域貢献・ボランティアに取り組んでいく。

### ③ 特記事項

今年度は自治会を中心に来年度以降、学生中心で行える活動の新企画の企画案や進行を支援。

## XI 国際交流（必要性に応じて）

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切	備考
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1	外国人の入学に関しては、学則に条文があるが留学生の受け入れに関しては規程がない。
2. 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 ② 1	県への定期報告は実施しているが、留学生受け入れの実績はない。
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 ①	受け入れを可能にするための専門的な人員の確保が必要である。インターネットは活用できるが外国文献など整備されることも必要である。
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 ①	国内外で評価される取組みは行っていない。

### ① 課題

1について：留学生の受け入れに関して規程を検討していく。

### ② 今後の改善対策

留学生の受け入れについて整備していく。

評価項目全てにおいて、必要に応じて対応する。

### ③ 特記事項